

【ヒットルアー】

- ・プチモカSR(SS) F.S01(TRG)黄・オレンジ 10尾
- ・プチモカSR(SS) ミドピーノ 6尾
- ・プチモカDR(F) S.M6 1尾
- ・ちびパニクラDR-SS ミドピーノ風 3尾
- ・ピコチャタクラDR-SSS ミドピーノ 3尾
- ・ファクター1.2g かみつけペレット 8尾 (餌撒きまでに5尾、餌撒き後3尾)
- ・しずくBB 桃 1尾 (デジ巻き)
- ・マメしずく BB 薄茶 15尾 (餌撒き前6尾 餌撒き後9尾)
- ・ペンタ2 1.7g 薄茶 1尾 餌撒き後

プチモカSR(SS)
F.S01(TRG)黄・オレンジ



プチモカSR(SS)
ミドピーノ



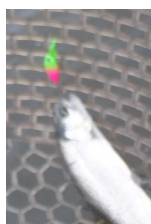
プチモカDR(F)
S.M6



ちびパニクラDR-SS
ミドピーノ風



ピコチャタクラ
DR-SSS
ミドピーノ



ファクター 1.2g
かみつけペレット



しずくBB
桃

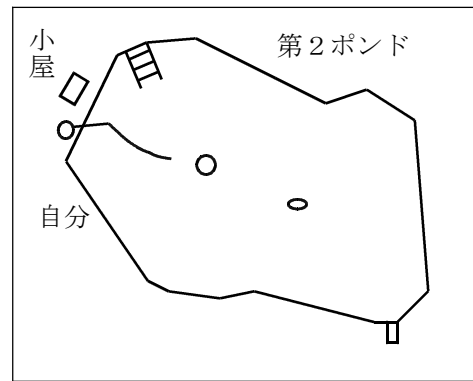


マメしずくBB
薄茶



【様子】

- 料金 半日午後 男性 ¥3,500
- 水曜日は放流なし。餌撒きあり。
- 晴れ、風は弱い。水は濁っている。



スタートから午後4時00分 29尾

- 12時15分スタート。
- お客さんは少ない。小屋前やや右に入った。
(結果として、ここがよかった。4時頃から表層でマスが集まってきた。)
- ライズは少しあるが、表層にマスが見られない。
- プチモカSR(SS) F.S01(TRG)黄・オレンジからスタートした。カウント5で巻き始めた。ヒット。
- 初めから連続ヒットとなった。
- プチモカSR(SS) F.S01(TRG)黄・オレンジで4尾、プチモカSR(SS)ミドピーノで4尾を釣った。プチモカDR(F)S.M6の表層を少し潜らせれば釣れるだろうと考えた。ヒット。しかし、連続ヒットとはならなかった。
- 黄・オレンジ、ミドピーノで再び連続ヒット。このまま続けていっても釣れるのだが、スプーンも試して見ることにした。
- ファクター 1.2g かみつけペレットを選んだ。竿先を下げでヒット、竿先を上げて(縦泳ぎを意識して)ヒット。プチモカSR(SS)はゆっくり巻いていくと沈んでいく。沈んでいく時にヒットする。それなら、スプーンも同じだろうと考え、沈んでいくスピードでリトリーブでヒット。しかし、ヒットパターンはつかめなかった。
- 途中から、表層にマスが見られるようになった。着水すぐのリトリーブで釣れるようになった。
- プチモカSR(SS)をゆっくり巻いていくと沈んでいく。長くリトリーブしていると深いところに落ちていく。深いところでは釣れない。竿先をグーッと持ち上げて、表層付近までルアーを上げてから、再びリトリーブするとヒットするというパターンで釣れた。
- 特に、ちびパニクラDR-SS、ピコチャタクラDR-SSSでは、表層付近まで持ち上げてくるときにブルブルと震え、それが誘いとなることを実感できた。モカDR(SS)でも同様に使えるように思える。

・プチモカSR(SS)	F.S01(TRG)黄・オレンジ	10尾
・プチモカSR(SS)	ミドピーノ	6尾
・プチモカDR(F)	S.M6	1尾
・ちびパニクラDR-SS	ミドピーノ風	3尾
・ピコチャタクラDR-SSS	ミドピーノ	3尾
・ファクター1.2g	かみつけペレット	5尾
・しずくBB	桃	1尾 (デジ巻き)

午後4時00分～午後4時30分 6尾

- 午後4時になった。表層にマスが集まっている。この時間帯は、マメしずくBB薄茶がチャンスである。
- 竿先を水平に引き(ジャークして)、止める。止めている間に竿を戻しながら糸を巻く。この時に当たりがある。このパターンで連続ヒットとなった。

・マメしずく BB	薄茶	6尾
-----------	----	----

午後4時30分(餌撒き)～午後5時00分(終了) 13尾

- 餌撒きが始まった。マメしずくBB薄茶の釣が伸びているように感じたので別のマメしずくBB薄茶をセット

した。餌を撒いているときはスタッフの安藤さんと話をしている釣れなかった。

○餌撒き後は表層にマスが集まっている向こう側に投げて同様に釣った。連続ヒット。たくさん釣れたのでマメしずくBB薄茶が壊れてしまった。

○スプーンで釣ることにした。ペンタ2 1.7g薄茶で1尾釣ったが続かない。ファクター 1.2g かみつけペレットに変えた。連続ヒットとなったが、ペンタ1.3g薄茶の方が良かったかもしれない。

○隣の方は、餌撒き後は、トップをデカミツで釣ると言っていた。連続ヒットとなっていた。

○夕方、マスが表層に集まってくるのは、小屋前が多いような気がする。

・マメしずく BB	薄茶	9尾
・ペンタ2 1.7g	薄茶	1尾
・ファクター1.2g	かみつけペレット	3尾

【自作ルアー しずく】

○午後4時以降・餌撒き後の高活性時に「マメしずくBB薄茶」でよく釣れた。

○この時間帯はジャークで釣った。

○マメしずくBB薄茶は9尾で使用不可能となった。やっぱり強度に難ありということだ。

○しずくBB桃を使って初めてボトムで釣ることができた。

【振り返り】

○今日は初めから魚の活性が高かった。数を伸ばすか(釣果を上げるか)、いろいろ試してみるか、迷いなくやりたい。

○長く釣れない時間帯は、24分間、27分間、27分間と3回あった。次の一手をいろいろ探っているとこれくらいかかってしまう。(釣り上げた時刻はデジカメ写真の記録である。釣り上げるごとに写真を撮った。)

○プチモカSR(SS)ではゆっくり巻いてくると沈んでいく。沈んでいく時に当たりがある。「ゆっくりゆっくり」と唱えながら巻く。「ゆっくり」でハンドル半周、「ゆっくりゆっくり」でハンドル一周とかなり遅い。)

○スプーンでも落としながら巻いてくれば当たりが出るはず。

○スタッフ安藤さんに、スプーンの巻き下げについて尋ねた。「一定層を泳がせた後、巻きスピードを遅くしてスプーンを落としていく。スピードが落ちたときにスプーンがどのように落ちていくか(ヒラヒラと落ちるのか、スライドしながら落ちていくのか)を把握しておく必要がある。場合にもよるが、ヒラヒラと落ちていく方が良い。巻き下げがあるように巻き上げがある。巻きスピードを上げることで、スプーンが上ずっていく。マスにとっては目の上を餌が逃げていくようなイメージとなる。巻き上げも巻き下げも一定層をリトリーブしている途中に変化させるということである。」

○プチモカSR(SS)であっても普通に巻いた方が釣れるときがあった。第3ポンドでのことである。また、マスが少し深いときには、リトリーブのあと、フォールさせることでヒットしたこともある。

○モカDR(SS)をゆっくり巻きながら沈めていき、マスのいる層を探るという方法を試さなかった。

○ピコチャクラDR-SSS、ちびパニクラDR-SSは沈んでいった後に持ち上げてくることで誘いとなる。モカDR(SS)でも同様にできそうである。

○餌撒き前後での釣りで「マメしずくBB薄茶」にかわるものとして、ペンタ1.3g薄茶を試してみたい。

○餌撒き後、少し活性が下がったときに、デカミツを試してみたい。